大学改革推進等補助金（デジタル活用高度専門人材育成事業）

デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業ＤＸをけん引する高度専門人材育成事業

計画調書

大学等名：

|  |
| --- |
| ①教学マネジメント体制について  ②取組の具体的内容について  ③産業界等との連携について  ④取組の優位性について  ⑤取組の達成目標及び検証について |

記入要領

大学改革推進等補助金（デジタル活用高度専門人材育成事業）

デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業ＤＸをけん引する高度専門人材育成事業

計画調書

大学等名：

※　本計画調書の作成に当たっては、あらかじめ「公募要領」及び「審査の観点等」を十分参照いただいた上で、記載方お願いします。

|  |
| --- |
| ①教学マネジメント体制について  ※全学的な教学マネジメント体制を整備していることについて記載してください。  ※全学的に教育改善に関するPDCAサイクルを確立していることについて記載してください。  ②取組の具体的内容について  ※取組の目的、養成する人材像を明確にした上で、取組内容を具体的に記載してください。その際、本事業において開発及び高度化する実験・実習科目等の「科目数・受講予定者数」、主要な「科目概要・特色」を説明してください。また、当該科目が専門分野の体系的なカリキュラムに位置付けられ、DX教育設備を導入することで、これまでの取組からどのような高度化が図られるのかを記載してください。  ※本事業を通じて「デジタル×専門分野」の教育を進め、当該専門分野において学生にどのような力を身に付けさせるのか、また、どのようにデジタルマインド・スキルを身に付けさせるのかについて記載してください。  ※併せて取組を持続的かつ確実に実施するための教育体制について記載してください。  ③産業界等との連携について  ※産業界等のＤＸの動向や課題、ニーズを捉えた取組であることを記載してください。  ※実験・実習科目等の開発や実施に関して産業界等との連携方策について記載してください。この際、具体的な連携先（企業・団体名、担当者名など）についても記載してください。  ④取組の優位性について  ※取組内容が申請大学等の特色を踏まえたものであり、当該計画がこれまでの自機関や他機関における取組や構想等と比較して優れていると考えられる点について記載してください。  ⑤取組の達成目標及び検証について  ※事業終了時における達成目標及びその評価方法をできる限り多面的に（少なくとも１つ）記載してください。なお、達成目標は可能な限り定量的に検証可能な目標としてください  ※事業終了後に、学生の学修成果の把握や、就職先の企業等からの評価を得る仕組みを設けている場合は、その内容についても記載してください。 |

※１　記載内容は具体的かつ簡潔明瞭なものとし、Ａ４縦４枚以内に収めてください。

※２　本調書に記載のある取組の参考資料を別途添付してください。様式は自由（PPT資料なども可能）で、既存資料を活用しても構いません。

参考資料は、①取組概要、②整備する教育設備と高度化する実験・実習科目等の体系性が分かる概念図（例：カリキュラムマップ）、③取組内容を実施する上で必要となる教育体制、④産業界等のＤＸの動向や連携の在り方が分かる資料、各１枚ずつの４枚としてください。

※３　計画調書については、11ポイント以上の文字を使うことを原則とし、太字・アンダーライン等で強調することは可能です。また、申請書等でカラーを使用することも可能です。

※４　余白の設定は変更しないでください。また、行間を詰めすぎないよう、読みやすく記入してください。

※５　提出にあたっては、記入要領のページを削除してください。